

進路だより

第3号 令和7年12月22日
東京都立府中けやきの森学園校長
相賀 直
進路部 担当 山市 吉澤

師走に入り、ますます寒さが深まる季節となりました。今年も様々な行事を通して躍進する面や、日頃の小さな積み重ねで成果をあげていく面など、着実に成長しています。そして、児童・生徒のみなさんが自分でその成果を感じられることが、何より大切なことであり、次のステップに進み続ける力の源でもあります。

進路だより第3号では、各学部の進路の取り組みを紹介いたします。「自分で成長を感じる」場面を探しながら読み進めると、他学部の紹介内容もまた違った発見があるのではないのでしょうか。学年を追うごとに変わっていく取り組み方の違いにも、是非ご注目ください。

各学部の進路の取り組み

小学部

A部門小学部

小学部では表情や視線、発声やジェスチャー、絵カードやスイッチ等も使いながら伝える力を養っています。日々の授業や学校生活での小さな「伝わった」や「できた」等の達成した経験を重ねて大きく成長しています。6年生になると「やってみたい!」「がんばろう!」と積極的に挑戦するようになり、グループ授業や学部集会などでリーダーとして活躍しています。将来の自立のために、「伝わった」「できた」という成功体験の積み重ねと「やってみたい!」というチャレンジする気持ちを大事にしています。

B部門小学部

B部門小学部では、朝の体育の時間に、リズム運動に取り組むことがあります。音楽に合わせて、アヒルの歩き方に見立ててしゃがんだ姿勢で前に進むなど、様々な動きを経験することでいろいろな姿勢をとれるようになっていきます。楽しんで取り組むことで、いつの間にかできることが増え、振り返った時に成長を感じられる場面が増えていくよう、日々の活動に様々な「しかけ」をして指導を行っています。毎年行っている就業体験のような、実際に仕事をする方々と接する機会も大切にしながら、日々の細かな視点でも将来につながる活動を深めていきます。

中学部

A部門中学部

中学部では、将来を見据えた活動として、日常生活で今まで培った基本的な生活習慣を継続し、身の回りのできることを増やしたり、他者との関わり方を学んだりしています。授業では、作業学習で府中二中との学校交流で受け取ったデザインを使ったファイル作りに取り組み与えられた役割を果たす活動を行っています。

その他、高等部見学、企業・事業所見学、マイクロソフト社職場見学などの進路学習を通して、進路のイメージを膨らませています。

このように日々着実に経験を積み重ねて力を蓄え、生徒の意思による進路決定、更には卒業後のより豊かな生活につながってほしいと思います。

B部門中学部

今年度は1学期に、1、2年生はよみうりランドのグッジョバで仕事体験を、3年生はB部門高等部作業学習の見学・体験を、それぞれ行いました。そして、学部全体の報告会で、お互いの体験や感想を報告し合うことで、自分たちに大切なことを共有し、学びの効果を増しています。

また、学期ごとに「進路学習」の時間を設け、働くとはどういうことかについて学習しました。将来の楽しみのために「働く」ことについて考える機会となっています。また、今年度は12月に3年生、2月に2年生の校外就業体験・見学を計画しています。高等部卒業後のイメージを具体的につかむ良い学びの時としていきます。

高等部

A部門高等部

<1年生>

1年生では「知る」というテーマのもと、進路指導を行いました。夏休みを利用して、各事業所の見学を実施しました。事業所の支援理念を聞いたり、実際の活動を見学したりする貴重な機会となりました。進路選択の多様性を「知る」ことで、将来的な進路選択に役立てていきたいと考えています。御家庭でも様々な事業所への積極的に見学に行ってください、個々に応じたペースで進路選択・決定を進められるようサポートしていきます。また、学校生活や家庭での様子を通じて、進路に向けた力や課題についても「知る」ことが必要です。卒業後の進路は重要な選択になるため、御家庭と情報を共有しながら、一緒に将来について考え、進路指導を行っていきます。

< 2 年生 >

2 年生の今年のテーマは「体験する」です。1 学期には就業体験に参加した生徒がいたり、2 学期には現場実習を行ったりしました。進路を考えるうえで、実際に体験しながら自分の考えを深めることができたことは、大きな成長につながっています。

2 学期の現場実習では、普段とは異なる環境の中で自分の力を発揮し、初めて関わる方々とも笑顔でコミュニケーションを取りながら活動する姿が見られました。働く楽しさを実感し、自分の強みを再確認するとともに、新しい課題にも気付くことができたと思います。今後も御家庭と連携しながら、一人ひとりに寄り添った進路指導を進めてまいります。引き続き、御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

< 3 年生 >

進路指導における「決定」というテーマは、3 年生にとって非常に重要です。福祉的な就労、企業での仕事、大学進学など、多様な進路の中から自分の希望や能力、興味、生活スタイルに合った選択をすることは、今後の人生に大きく影響を与えます。これまでの経験を振り返り、自分の強みを再確認することが大切です。自己分析を行い、自分の得意分野や好きなこと、将来の社会貢献について考える時間も必要です。進路選択にあたっては、自身の希望だけでなく、家族の意見や期待も大切にし、コミュニケーションを通じて進路の選択肢について話し合うことで、より良い決定ができるでしょう。

今後は、個別移行支援計画などを通じて、進路先へのスムーズな移行を目指し、具体的な支援を進めていく予定です。進路を選ぶことは大きな一歩ですが、学校、家庭、地域が連携しながら、本人が自分の未来を切り開く力を育てていけるよう努めていきます。



B 部門 高等部

< 1 年生 > 1 年生の進路指導は「知る」がテーマです。日々の学校生活や様々な活動を通して、自分自身の「できること」「得意なこと」「好きなこと」などを知ることを目指しています。自己理解を深めることで、将来どのようなに過ごしたいのかをイメージできるようになります。

9 月は進路見学を実施し、地域の福祉事業所や企業を見学しました。実際に働く現場を見ることで、働くことをより具体的に考えるきっかけとなりました。10 月には校内実習を行い、受注作業は、福祉事業所や企業から仕事をいただきました。校内実習を通して、仕事に対する責任感や達成感を味わうことができました。さらに、1 月には就業体験を予定しています。学校とは異なる職場の雰囲気を感じ、働くことを学ぶ貴重な機会となります。これらの進路行事で得た経験を、今後の進路選択・決定につなげていきます。生徒一人ひとりが自分に合った進路を主体的に考えられるよう様々な「知る」を通して、引き続き支援していきます。



< 2年生 >

2年生の進路指導は「経験する」がテーマです。就業体験を経て、現場実習では1人で3～5日間働く経験をしました。それぞれが目標を立てて挑戦する中、働く楽しさや大変さ、厳しさ、喜びなどを感じ取ることができる貴重な機会となりました。2年生は、現場実習を「経験する」ことで、卒業後に向けた課題を見つけることができます。その課題を克服することを目標に、一日一日を大切にして、日々の学校生活を充実させていきます。

今後も御家庭と連携し、これらの力を身に付けられるよう引き続き指導していき、より良い進路決定に向けて取り組んで参ります。

< 3年生 >

I期、II期の現場実習を終え、進路先を決定する時期になりました。

現場実習では、自分の目標を達成するために、本人と御家庭、学校が一丸となって取り組んできました。II期現場実習後の進路面談は、進路先の希望を絞り込むと同時に、卒業後の生活をどのようにしたいか、どのような支援があるのか、より豊かな生活を送るためにどうすればよいかなどについて話をする機会となりました。残りの学校生活では、高等部生活の総まとめとしてそれぞれの目標と向き合いながら成長し、その力を卒業後の生活で発揮できるよう指導していきます。

